

性に関する講話

11月6日（月）性に関する講話を実施しました。

講師は「にじいろほっかいどう」理事長 国見 亮佑 様にお越しいただきました。

さまざまな「性」のカタチというテーマのもと、講話をいただきました。講話ではLGBTQの言葉の意味や、ご自身の経験談をお話していただくほか、講話途中に2つのテーマについてグループワークを行い、様々な意見や考えを発表し合うとても有意義な時間になりました。

性に関する講話を聞いてみてどうだった？



意外と皆ジェンダーやLGBTについて知らないんだなあと驚いた。高校生の中でも知識に差があるのでこういった講話はもっとやっていくべきだと思う。

3年 神原 智美



世の中のLGBTQに向けての知識を改めて学び、この先の生き方について考えられるような講話でした。先入観で生きず、その人自身の存在を尊重してこれからを生きていきたい。3年 長澤 陽登



今回の話を聞いてみて、自分の周りでも意外と性的マイノリティの人はたくさんいるんだなと思った。だけど、普通に仲良くできている。LGBTQについて理解が進んでいないのは、今の高校生とかの子供でなく、大人の方の方が理解できていないのではないかなと思う。お話とても面白かったです！

2年 青木 日菜



もともとYoutubeのおすすめとかTikTokで、LGBTに関する動画をよく見ていたので、私は深くまではわかってないけど理解はしているつもりです。全ての人に理解してもらえるのはまだまだ時間がかかるかもしれないけど、全ての人が生活しやすい世の中になればいいなと思います。

2年 藤森 つばさ



LGBTQの話聞くことはあったけど当事者の方からお話を聞く機会は今回が初めてだったのでとても貴重な時間になりました。当事者じゃない人達だけではあまり分からない苦勞や苦惱もたくさんあるとは思いますが今回の話を聞いて誰もが過ごしやすい社会になることは難しいことだけでも重要なんだなと改めて思いました。

1年 勝山 仁絵



今日の話聞くまでなんとなくしか知らなかったけど、お話を聞いて、この事は当たり前のようにあってもっと社会で理解されるべきだなと思った。

1年 半田 愛実

